

〔科目名〕 自分知の探究	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 専門科目
〔担当者〕 安田公治 長岡 朋人	〔オフィス・アワー〕 時間： 安田:授業内で指示 長岡:12:10～13:00(長岡) 場所： 安田:教室及び研究室 長岡:605 研究室(長岡)	〔授業の方法〕 講義、演習
〔科目の概要〕 安田担当部分 前半ではまず経済学の基本的な考え方を理解し、将来の目的を設定して現時点で自分自身がどうすればその目標を達成できるかについて考える。また消費者・家計、企業・事業者の行動について経済学的な説明をしたうえで、将来家庭の一員として家計をどう考えるか、事業計画などについても考えていく。実際に架空の家庭や企業・運営者を想定したグループワークも行い、最後には商品の企画・プレゼンテーションを行う。また少子高齢化における高齢者と若い世代の交流やレクリエーションについても学び、レクリエーションの企画のプレゼンも行う。 長岡担当分 健康や医療の問題をトピックとして、生と死に関わる倫理的問題に向き合ったとき私たちはどのように意思決定をするかどうか、考えを深めます。私たちは出生から死まで医療に密接にかかわっています。終末期医療、脳死と移植医療、安楽死と尊厳死をめぐる倫理的問題、疾病構造と医療経済の問題、地域医療の問題などをトピックに、大きなライフイベントにおける意思決定を討議します。医療に関わる問題を取り扱いますので、討議に関わる基礎知識は事前もしくは事後に講義を行います。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 安田担当部分 少子高齢化社会における地域活性化では、地域内での老若男女のスムーズな交流が必要となる。そのためにはまず地域を構成する、家計や企業の行動原理について理解することが重要となる。また子どもや高齢者を対象としたレクリエーションを模擬的に企画することを通して、地域の高齢者や子どもの交流を体感することで、地域活性化における世代を超えた交流の重要性を理解する。 長岡担当分 医療の問題は私たちの人生に深くかわるだけではなく、経営経済学とも学際的な接点があります。また、医療は同時に地域の重要なテーマで、地域みらい学科の学生には多面的な視野を持ちながら、地域が抱える問題に立ち向かってほしいと願っています。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 安田担当部分 1. 最終目標 将来どのようなリスクがあるかを理解し、そのリスクに対処するための選択を自分の意志で行えるようになる。 また地域社会で起こりうる問題を理解し、その地域活性化の計画を立てられるようになる。 2..中間目標 自分と異なる意見を理解したうえで自分の主張を行えるようになる。 グループで効率よく意思や計画を共有する方法を学ぶ。 長岡担当分 1. 最終目標 (1) 自分の言葉で情報を整理し意見を述べるができること、(2) 地域医療や倫理的問題に関心を高めることです。 2. 中間目標 (1) 膨大な情報量を持つ学問領域を知ること、(2) 健康や医療のリテラシーを身につけることです。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 安田担当箇所:授業評価基準を初回の時点で十分理解できるように説明する。 長岡は該当なし		
〔教科書〕 配布資料		

〔指定図書〕 なし	
〔参考書〕 なし	
〔前提科目〕 なし	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 安田担当部分:個人に課す提出物及びレポートで評価する。配点の内訳は授業内の提出物 40%、レポート 60%。 レポートの締め切り提出方法は前半の講義中に指示。なおグループワーク時の欠席や参加姿勢に問題があると判断される場合は減点する場合がある。 長岡担当部分:授業内の課題提出物、レポート、グループ学習の積極性で評価します。授業内の課題提出物は40%、レポートは 50%、グループ学習の参加姿勢は 10%とします。グループ学習を行うため、欠席は成績評価を減ずる方針です。	
〔評価の基準及びスケール〕 Aは 80 点以上、Bは 70～79 点、Cは 60～69 点、Dは 50～59 点、Eは 49 点以下と評価します。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 (1)遅刻・欠席はできるだけ控えてください。(2)講義で分からないことは気軽に質問してください。(3)受動的な姿勢で受講しないでください。	
〔実務経歴〕	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): イントロダクション 内 容: 講義の進行の説明、経済学の考え方、意思決定について
第2回	テーマ(何を学ぶか): 消費者・家計 (1) 内 容:家計とは何か、将来自分が家庭の一員として家計を担うことについて、将来のリスクも考えた上で行動を選択することを学ぶ。
第3回	テーマ(何を学ぶか): 消費者・家計 (2) 内 容:グループ学習(消費者・家計の行動を実践的に考える) 前週の内容を受けて実際にグループで架空の家庭を作り、問題点について体感しながら議論する。
第4回	テーマ(何を学ぶか): 事業計画 (1) 内 容: 将来起業またはイベントなどの企画、または就職する際の問題点について経済学の知識も交えながら考える。次週のグループワークの計画を立てる。 教科書・指定図書
第5回	テーマ(何を学ぶか): 事業計画 (2) 内 容: グループワークとしてペーパータワーを行う。その際にグループ毎に計画書を事前に作成し、計画を立てることの重要性を理解する。 教科書・指定図書

第6回	テーマ(何を学ぶか): 商品やサービスのプレゼンテーション 内 容: 既にある商品やサービスを基に新しい商品やサービスをグループで考えプレゼンを行う。 教科書・指定図書
第7回	テーマ(何を学ぶか): 少子高齢化社会の世代間交流とレクリエーション(1) 内 容: レクリエーションとは何か。グループで少子高齢化社会における子どもと高齢者の交流について議論する。 教科書・指定図書
第8回	テーマ(何を学ぶか): 少子高齢化社会の世代間交流とレクリエーション(2) 内 容: 前週の内容を踏まえて、子どもと高齢者の交流を前提としたレクリエーションの企画のプレゼンをおこなう。 教科書・指定図書
第9回	テーマ(何を学ぶか): 生命倫理学の基礎 内 容: 生命倫理学のトピックを用いて、文献の読み方とまとめ方を学びます。地域みらい学科の学生に必要な基礎的なアカデミックライティングを復習します。 教科書・指定図書
第10回	テーマ(何を学ぶか): 生命倫理学の基礎 内 容: 生命倫理学の文献に基づいて自分の意見をまとめる方法を学びます。地域みらい学科の学生に必要な基礎的なアカデミックライティングを復習します。 教科書・指定図書
第11回	テーマ(何を学ぶか): 先端医療と生命倫理 内 容: 脳死や臓器移植をテーマに、生と死に関わる倫理的問題について討議します。グループ学習の基礎力を涵養します。 教科書・指定図書
第12回	テーマ(何を学ぶか): 先端医療と生命倫理 内 容: 安楽死・尊厳死をテーマに、生と死に関わる倫理的問題について討議します。グループ学習の基礎力を涵養します。 教科書・指定図書
第13回	テーマ(何を学ぶか): 医療資源の分配 内 容: トリアージをテーマに、生と死に関わる倫理的問題について討議します。グループ学習の基礎力を涵養します。 教科書・指定図書
第14回	テーマ(何を学ぶか): 疾病構造と医療経済 内 容: 疾病構造の変化と生活習慣病が医療経済に及ぼすインパクトについて討議します。グループ学習の基礎力を涵養します。 教科書・指定図書
第15回	テーマ(何を学ぶか): 地域医療 内 容: 青森県の短命県返上を目指す試みを俯瞰し、健康や医療に関わる地域貢献について討議します。グループ学習の基礎力を涵養します。 教科書・指定図書
試験	